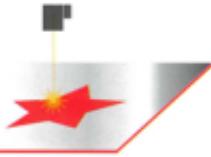


# Q 二層板はどんな構造? 何色の組み合わせが売れている?

レーザー加工に欠かせない二層板。表札からマンションプレート、バグタグ、ペットタグまで幅広い商材作りに活躍してくれる素材だ。

現在、日本国内で使用されているブランドはグラボテック、ローマークの2ブランドが主流。いずれも海外製品で、様々なレーザーメーカー、ディーラーから購入することができる。



## 二層板の構造

上の層は塗装。薄いため、簡単にレーザーで削いて削ることができる。素材はABS、アクリル、金属など色々あって違う。下回ではわかりやすくするために分厚くしているが、実際は数ミリ程度と薄い。

下の層はレーザー加工しやすいアクリル(ABSが含まれている素材もある)が多い。

上層をレーザー加工で焼き切る、下層のベース材の色が見えるようになる。つまり、色入れ不要で2色表現が可能になる。切断もレーザー加工機で簡単にできるため、手軽に扱うことができる。ギターでもマニアカル通りにやればほとんど失敗しないため、今やレーザー加工を代表する材料となる。

機用がABS、レーザー加工用にはアクリルを用いることが多い。ベース板の上に異なる色の塗装(アクリル、ABS、金属など色々)によって素材が変わら)を施したもののが二層板だ。

二層板の構造は、その名の通り2層に分かれている。レーザー加工用と大きいく分類あるが、ベースとなる下の板は影刻

ついている。上級者になれば二層板を組み合わせることでカーブなどの表現やフレームを製作することができる。ぜひチャレンジしてほしい(写真右下)。

グラボテックはオリジナルの二層板を開発。日本国内では「グラボライマーク」シールドが人気。先れている組み合わせは、白黒、黒、黒、白、ブラック・シユンバー、黒、ヨーロピア・ゴールド、黒、アルミニ・黒。二層板の大きさは1220×610mmだが、その2分の1、4分の1サイズでも販売可能。希望があれば、それ以外のサイズにもカットしてい

て販売してくれる。ちなみに、海外では屋外で使用する耐候性の高い「グラボ・プライマルトラ」が人気。交通標識やサイン関連に活用されているそうだ。

ヨー・イー・エスはアメリカのローマーク社製二層板を専業に扱う。売れ筋はシルバー・黒の組み合わせで、次いでゴールド・黒。

白・上層が青・緑、下板が白黒というパターンが多い。同社はローマーク社製の二層板を數十パターン扱っており、様々なサイズにカットして対応してくれる。二層板と加工データをセットにした初心者向けのキットも販売しているので活用したい。

コムネットではローマーク社以外に中国製の二層板も販売。カット無料サービスなども展開している。



③様々な二層板を組み合わせて作ったプレート、表札の作例。狭いに慣れてくればこうした複雑な組み合わせができるようになる。手間もかかるが、販売単価もアップするのでトライしてみてよう(サンプルは全てヨー・イー・エス製)。

望があるが、それ以外のサイズにもカットしてい

て販売してくれる。ちなみに、海外では屋外で使用する耐候性の高い「グラボ・プライマルトラ」が人気。交通標識やサイン関連に活用されているそうだ。

ヨー・イー・エスはアメリカのローマーク社製二層板を専業に扱う。売れ筋はシルバー・黒の組み合わせで、次いでゴールド・黒。白・上層が青・緑、下板が白黒というパターンが多い。同社はローマーク社製の二層板を數十パターン扱っており、様々なサイズなどをカットして対応してくれる。二層板と加工データをセットにした初心者向けのキットも販売しているので活用したい。

コムネットではローマーク社以外に中国製の二層板も販売。カット無料サービスなども展開している。